

おはなし音楽

♪ エルガー 愛のあいさつ 抜粋 Aまで

むかしむかし、あるところに、おほりに囲まれた古いお屋敷がありました。

そのおほりのしげみの中で、一羽のアヒルのお母さんが巢(す)の中のタマゴをあたためていました。

やがてタマゴが一つずつ割れると、中からは黄色い色をしたかわいいひなたちが顔を出しますが、巢の中で一番大きなタマゴだけが、なかなか生まれてきません。

しばらくたって、やっとタマゴを割って出てきたのは、たいそう体の大きなみにくいひなでした。

♪ ジムノペディ ヴァイオリンの旋律まで

みにくいアヒルの子はどこへ行ってもいじめられ、つつかれて、かげ口をたたかれます。

はじめのうちはみにくいアヒルの子をかばっていたお母さんも、しまいには、

「本当にみにくい子。いっそ、どこか遠い所へ行ってくれたらねえ」と、ため息をつくようになりました。

それを聞いたみにくいアヒルの子はいたたまれなくなって、みんなの前から逃げ出してしまいました。

♪ ジムノペディ チェロの旋律から最後まで

あてもなく飛び出しましたが、どこに行ってもきらわれます。

アヒルの子は人目につかない場所を選んで眠り、起きればまた逃げ続けました。

♪ ビバルディ 四季より秋 (チェロソロ)

季節はいつの間にか、秋になりました。

そんなある日、みにくいアヒルの子はこれまで見たこともないような、美しいものを目にしました。それは、白鳥(はくちょう)のむれでした。

長くしなやかな首をのぼし、まぶしいばかりの白いつばさをはばたいて、白鳥たちはあたたかい国へと飛んでいくところでした。アヒルの子はあっけにとられて、その美しい鳥たちが空のかなたへ去っていくのを見送っていました。

「あんな鳥になれたら、どんなにか幸せだろう。

いや、アヒルの仲間にはさえ入れないくせに、そんな事を考えてどうするんだ」

♪ モルダウ (チェロソロ) 繰り返しなし 全曲

冬が来て、沼には氷が張りはじめました。

アヒルの子はアシのしげみにじっとうずくまって、きびしい寒さをたえしのびました。

そのうちに、お日さまはしだいにあたたかさをまし、ヒバリが美しい声で歌いはじめます。
ついに、春が来たのです。

♪ メンデルスゾーン 春の歌 Bまで

アヒルの子は体がうきうきしはじめると、つばさをはばたいてみました。
すると体が、浮くではありませんか。
「ああ、飛んだ、ぼくは飛べるようになったんだ」
アヒルは夢中ではばたと、やがておほりにまいおりました。
その時、おほりにいた白鳥たちが、いっせいに近づいてきたのです。
「ああ、みにくいぼくを、殺しにきたんだ。
ぼくは殺されるんだ。
・・・でも、かまわない。
みんなからひどい目にあうより、あの美しい鳥に殺された方が、いくらましだかしのれない。
さあ、ぼくを殺して！」
アヒルの子は、殺されるかくごをきめました。

♪ 千の風になって 抜粋 1番かっこ（エンディング）まで

しかし、そうではありません。
白鳥たちはアヒルの子の周りに集まると、やさしく口ばしでなでてくれたのです。
そして白鳥の1羽が、言いました。
「はじめまして、かわいい新人さん」
「えっ？ 新人さん？ かわいい？ ぼくが？」

ビックリしたアヒルの子は、ふと水の上に目を落とすと、そこにうつっていたのは、もうみにくいアヒルの子ではありません。

♪ 白鳥 全曲

まっ白に光りかがやく、あの白鳥だったのです。
冬の間に羽が抜けかわって、美しい白鳥に姿をかえていたのでした。
「あたらしい白鳥が、一番きれいだね」 みんなの声が、聞こえてきました。

おしまい

♪ ユーレイズミーアップ 全曲